



会高同窓会報

No. 50

2020年(令和2年)
11月15日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会会報委員会：発行人：会津高校同窓会会長 林 健 幸
〒965-0831 福島県会津若松市表町3-1 ☎：0242-28-0211(代) F A X：0242-28-6680
同窓会H P <http://aizu-h-doso.com/>

新会長に 林 健幸氏 (高34回)



新城猪之吉氏 在任8年

—長い間大変お世話になりました—

「活気ある同窓会に」



会津高校同窓会 会長
林 健 幸
(高34回)

昨年9月の同窓会総会において会長に選任された高校34回の林健幸です。新城会長より十四歳若返りました。文字通りの若輩者ですがよろしくお願い申し上げます。お受けするにあたり、心がけたこととして、役員の若返りと平成14年の共学化より17年がたち、卒業生も1800名を超えた女性の同窓生の積極的な参加を呼び掛けていきたいことです。幸いなことに副幹事長を中心に若返りを図ることができ、女性役員も3名となりました。私を含めまだまだ未熟な感はないかと思いますが、諸先輩をはじめとする皆様方にご指導をいただきながら活気ある同窓会の運営にあたつてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

今年この原稿を書いている現在、コロナウイルスの影響で人が集まる行事を中心に様々な催事が中止、自粛されています。同窓会でも5月の連休に計画されていた、ゴルフ、囲碁、将棋大会の中止を余儀なくされました。在京同窓会をはじめとした各地、各支部の総会も中止(書面評決)になりました。地元同窓会でも9月に予定されていた総会を書面評

決にて行うこととなりましたし、学校行事創立130周年記念行事も来年に延期されることとなりました。新しい生活様式がうたわれ、収束してもコロナ以前の生活に戻るのには難しいとまで言われています。同窓会の運営やその目的の一つである会員間の交流にも支障をきたしてまいります。いつまでこの状態が続くのか不明なままの状況下、GO、STOPの繰り返しを続けていくのは体力を要しストレスを感じずにはられません。また、ITによるテレワークなども盛んになってきています。

論語の中で子貢が顔回を評して「一を聞いて十を知る」とその才を讃えたとあります。我々は耳から入る情報と併せて、話し手の顔や雰囲気などいろいろな情報を受け取りながら内容を把握していくといわれています。メールや電話ばかりではコミュニケーションがうまく取れず、言わんとするところのどのくらいが伝わったのか不安になることもあります。今年の卒業生の多くは進学先での授業が対面で行われず、リモートが多いとも聞いております。人に揉まれることによってしか得られない成長もあるかと思えます。来年はコロナ禍が終息し今までの日常に戻ることを心の中から願わずにはられません。

在京、関西、中部、北海道と同窓の輪は日本全国に広がり大学在学中など若い方々の参加も見られます。また、会津内各支部においても、同窓会役員の皆様を中心に様々な機会を設け、会の活性化に励んでおられます。これからも母校の発展と、同窓会の隆盛にお力添えをお願い申し上げ新任の挨拶と致します。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本校2年目を迎えました校長の廣瀬です。同窓会の皆様には常日頃より母校に對しまして、多大なるご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、今年度は4月の入学式で新入生240名を迎え入れ、会津高校創立130周年という節目の年がスタートいたしました。しかしその後すぐ、新型コロナウイルス感染拡大による国の緊急事態宣言を受け、4月21日より一斉臨時休業に入り、去る6月1日にやっと教育活動が全面再開されたところでもあります。この間（41日間）生徒達は、学習面をはじめあらゆる活動を制約付き（部活動は中止）で家庭で行うことになりました。未だかつて誰も経験したことのないこの生活に、生徒も家族もそして我々教員も戸惑いを隠せませんでした。またイベント等の自粛ということで、インターハイや甲子園大会、合唱や吹奏楽等の各種コンクール



校長 廣瀬 敬彦

「ご挨拶」

をはじめ生徒達の部活動の成果を発表するあらゆる機会が失われ、特に集大成の3年生にとって、そのショックは計り知れなかつたと推察しています。更には大学進学という大きな目標に向かう本校生にとって、授業ができない事による学習の遅れという問題が一番懸念され、学校でもオンラインで生徒達と繋がる手法を急遽取り入れたり、登校日を設定し補習を行ったりと工夫を凝らしながらの対応の連日でした。まさにこのウィルスの出現は、教育活動をはじめ私たちの日々の生活をも完全に変化させてしまいました。感染リスクを排除しながら、「かからない・うつさない」を合言葉に再開された学校生活を明るく・楽しく過ごしているところでもあります。

さて今春の卒業生の進路状況ですが、国公立大学に現役生100名の合格者を出すことができました。東京大学現役1名、東北大学現役4名（浪人1名）を含め前年振る

わなかつた難関大学合格に関して少し巻き返しを図れたかなと感じております。各学年とも6クラス体制となりましたが、更なる国公立大学合格者の増加、私立大学希望者の底上げ、そして難関大学の合格に向け学校あげて取り組んでいきたいと考えております。

次に部活動における昨年度の活躍を紹介しますと、昨年度の全国高校総体（南九州インターハイ）に陸上部と端艇部が出場、茨城国体にテニス部の男子生徒が県代表として出場し活躍してくれました。また合唱部も全日本合唱コンクールにおいて9年連続13回目の金賞（第2位相当）、さらにNコンでは第3位を獲得し、吹奏楽部も東北大会に出場しました。また第72回県文学賞においては2部門（小説・ドラマ部門と俳句部門）での入賞、県科学技術研究論文では物理部摩擦擦班の野口英世賞の受賞など、生徒達の様々な分野での活躍があり、会津高校の名を県内外に轟かせてくれました。今年度においては残念ながら、ほとんどの大会が中止となつてしまいその報告ができませんが、今後も先輩方が築いてきた文武不岐の伝統を継承させ、会高生の心意気を見せていきたいと考えておりますので、応援の程よろしくお願いいたします。

結びに、過日行われた学校創立130周年記念事業実行委員会において、今年度9月に予定されていた式典を含めた全ての事業計画を来年度に延期することが決定されたところがあります。同窓生の多くの皆様には、今回の記念事業における寄付について快く御賛同いただきましたことに対しこの紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。引き続き来年度の記念事業成功に向け、更には母校の発展のためより一層のご協力を切にお願い申し上げます、あいさついたします。

■廣瀬敬彦先生 プロフィール

昭和36年生れ 磐城高校卒
勤務歴・東白川農商鮫川分校・磐城高校・四倉高校・県教育庁指導主事
・いわき光洋高校教頭・田村高校教頭・県スポーツ課主幹・県スポーツ課課長
・いわき光洋高校校長・田村高校校長・現職

目次

1	「活気ある同窓会に」 同窓会長 林 健幸
2	「ご挨拶」 学校長 廣瀬 敬彦
3	令和元年度 総会報告
3	令和2年度職員人事異動
4	令和元年度事業報告・令和2年度事業計画
5	令和元年度決算報告・令和2年度予算
6	四地区から 在京地区同窓会
6	関西地区同窓会
6	中部地区同窓会
7	北海道地区同窓会
7	塩川支部・南会津支部・猪苗代支部
8	支部活動 会津坂下支部
8	学年だより 高5回
9	母校は今 ① コロナ禍と学校 本多 克至（高54回）
9	② 令和元年度大会結果一覧
10	③ 令和2年度進路一覧
12	④ おくやみ・お祝い
13	協賛金
14	生物部廃部 佐藤 光信（高20回）
16	広告協賛金
17	追悼 故渡部恒三氏・編集後記
20	

令和元年度 総会報告

令和元年度総会は元年9月8日(日)ワシントンホテルで開催され、230余名の参加があった。

- (1) 献花式。総会に先立って10時30分より母校前庭『やすらぎの碑』前にて、この一年間の物故恩師と会員のご冥福を祈って「献花式」が行われ、20余名が参列した。
- (2) 総会。12時30分開会。黙祷、校歌斉唱、会長挨拶の後、母校校長（廣瀬敬彦様）PTA会長（森田康文様）会津若松市長（室井昭平様〈高26回〉）のご祝辞を頂き議事に入った。

議長は高34回が当番で小川洋正氏が選出された。先ず、平成30年度会務報告、各種会計決算報告と監査報告があり全会一致で了承された。今年度は役員改選の年に当り、太田幹事長より選出方法についての伺いに對し『事務局一任』の声があがって、別紙の原案が承認された。

引き続き、令和元年度事業計画案と予算案が提出され、審議の結果、満場一致で承認された。

次、『協賛金』の現状説明と協力呼びかけがあり、来年度予定の『母校創立130周年記念行事』の事業説明と募金活動への協力依頼があつて議事は終了した。最後に『学而さくらクラブ』様から本会への金一封の寄贈があつた。

- (3) 記念講演会。13時30分より『私のマラソン人生』と題して安西秀幸氏〈高56回〉の講演会が行われた。安西氏は平成30年度全国都道府県対抗駅伝大会（男子チーム）の福島県チーム監督を勤め、県として初優勝を勝ち取った。

そのことを讃え、彼のマラソン人生の語りと新城会

長との対談形式によるトークがあつた。

会場から熱い応援と大拍手があつて終了。

- (4) 懇親会。15時開会。ご来賓を代表して関西同窓会会長（管家大幸様〈高14回〉）からご祝辞を頂き、来賓の皆様を紹介の後、在京同窓会会長（大越康弘様〈高13回〉）による乾杯のご発声で祝宴が始まった。

宴もたけなわとなったところで、木村豊氏〈高27回〉の指揮で凱旋歌を繰り返し歌い盛り上がった。

中締めは、新副会長（安部井省治氏〈高28回〉）により来年の再会を祈念して『三本締め』にて全てを終了し散会した。



太田伸氏



安西秀幸氏



懇親会風景

令和2年度(2020年)会津高校職員人事異動による転退出・転入者

1 転出者・退職者

真壁 勝	事務長→保健福祉部 保健衛生総室 業務課主幹兼副課長
鷺山 秀俊	教諭(美術)→退職→坂下高校
渋井 祥雄	教諭(国語)→会津工業高校
中村 涼子	教諭(国語)→安積黎明高校
鈴木 明香	教諭(国語)→原町高校
上野 忠紘	教諭(地歴)→南会津高校
江川 和也	教諭(英語)→喜多方桐桜高校
菅家 清次	常勤講師(数学)→退職→大沼高校
山内 淳一	常勤講師(保体)→退職→猪苗代高校
佐藤 公文	常勤講師(英語)→退職→ザベリオ高校
吉田 愛加	常勤講師(英語)→退職→磐城桜ヶ丘高校
金谷 成美	養護教諭→退職→経堂小学校(東京都)
秋山 辰榮	時間講師(国語)→退職→ザベリオ高校

2 転入者・新採用者

関 拓哉	事務長←土木部 道路総室 道路計画総括主幹兼副課長
真壁 伊佐男	教諭(国語)←郡山高校
高橋 美子	教諭(国語)←原町高校
大内 弘之	教諭(地歴)←新採用←光南高校
横田 円佳	教諭(美術)←相馬東高校
渡部 宏	教諭(英語)←葵高校
春日 智志	教諭(英語)←田島高校
菅田 真理子	教諭(数学)←職務復帰(育休)
原 賢文	常勤講師(国語)←新規←若松商業高校
鈴木 麻未	常勤講師(英語)←新規
佐藤 久美子	養護助教諭←新規

令和元年度 事業報告（R 1 年 7 月 1 日～R 2 年 6 月 30 日）

令和元年		11 月 9 日(土)	関西同窓会総会
7 月 18 日(木)	会計監査	23 日(土)	猪苗代支部総会
22 日(月)	河東支部総会	”	湯川支部総会
23 日(火)	インターハイ出場激励金贈呈 (陸上・端艇)	12 月 11 日(水)	下郷支部総会
26 日(金)	南会津支部総会	令和 2 年	
8 月 7 日(水)	第 2 回定例幹事会・役員会	3 月 1 日(日)	第 72 回卒業式
23 日(金)	坂下支部総会	4 月 9 日(月)	令和 2 年度入学式
9 月 8 日(日)	令和元年度総会	中止	在京同窓会
”	物故会員追悼慰霊式	”	戊辰殉難者春季祭典
”	同窓会報第 49 号発行	4 月 25 日(土)	白虎隊士春季墓前祭
9 月 23 日(月)	戊辰殉難者秋季祭典	中止	第 1 回定例幹事会
24 日(火)	白虎隊士秋季墓前祭		会長杯ゴルフ・囲碁 将棋大会
10 月 10 日(木)	合唱部全国大会出場激励金 贈呈	”	会津美里支部総会
11 月 1 日(金)	市役所職員同窓会	”	北海道同窓会総会
4 日(月)	塩川支部総会	”	中部同窓会総会

- 役員会・会報委員会・HP 委員会は随時開催されました。
- 創立 130 周年記念実行委員会は 1 回～6 回開催されました。

令和 2 年度 事業計画（R 2 年 7 月 1 日～R 3 年 6 月 30 日）

令和 2 年		令和 3 年	
中止	会高県職員親睦会	3 月 1 日(月)	第 73 回卒業式
7 月 29 日(水)	会計監査	4 月初旬	令和 3 年度入学式
中止	河東支部総会	中旬	在京同窓会総会
”	坂下支部総会	23 日(金)	戊辰殉難者春季祭典
”	第 2 回定例幹事会	24 日(土)	白虎隊士春季墓前祭
”	令和 2 年度総会	下旬	会津美里支部総会
”	創立 130 周年記念式典	5 月 5 日(水)	会長杯ゴルフ大会・囲碁大会 将棋大会
9 月中旬	南会津支部総会	中旬	第 1 回定例幹事会
中止	戊辰殉難者秋季祭典	下旬	北海道同窓会総会
”	白虎隊士春季墓前祭	6 月中旬	中部同窓会総会
10 月 30 日(金)	物故会員追悼慰霊式 (母校創立記念日に当る)	7 月下旬	会計監査・役員会
11 月 15 日(日)	同窓会報 50 号発行	8 月上旬	第 2 回定例幹事会
中止	会高市役所職員同窓会	9 月 11 日(土)	令和 3 年度総会
”	下郷支部総会	”	物故会員追悼慰霊式
”	塩川支部総会	”	同窓会報第 51 号発行
”	関西同窓会総会	”	創立 130 周年記念式典
”	湯川支部総会		
”	猪苗代支部総会		

- 予定されておりました令和 2 年までの各支部総会などの事業は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になりました。
- 役員会・会報委員会・HP 委員会は随時開催の予定です。
- 創立 130 周年記念実行委員会は 9 月 10 日までは準備会として随時開催の予定。

令和元年度決算報告

令和元年度 7 月 18 日より令和 2 年 6 月 30 日まで

一般会計

収入総額	8,692,853 円
支出総額	6,504,811 円
差引残高	2,188,042 円 (次期繰越金)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	1,818,313	事務局費	48,835
入会金	1,360,000	事業費	3,000,000
協賛金	2,010,000	総会費	357,480
雑収入	504,540	会報発行費	832,604
繰入金	3,000,000	会合経費(地元外)	257,500
		会合経費(地元)	117,000
		慶弔費	20,330
		卒業記念費	203,500
		会議費	26,000
		通信費	87,434
		HP作成管理費	10,564
		基金(入会金)	1,360,000
		手数料	133,166
		雑費	50,398
合計	8,692,853	合計	6,504,811

以上報告します。 会計幹事 真壁 伊佐男 (高 35 回)

基金会計

収入総額	26,231,374 円
支出総額	4,270,000 円
差引残高	21,961,374 円 (次期繰越金)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	24,870,018	全国大会出場激励金	1,270,000
繰入金	1,360,000	130 周年記念事業同窓会負担金	3,000,000
雑収入	1,356		
合計	26,231,374	合計	4,270,000

財産目録	普通預金	6,816,907 円
	定期預金	15,144,467 円
	計	21,961,374 円

以上報告します。 基金会計幹事 古川和則 (高 41 回)

会報委員会会計

収入総額	1,082,342 円
支出総額	560,540 円
差引残高	521,802 円 (次期繰越金)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	820,556	編集会議費	70,000
広告収入	250,000	一般会計へ入金	410,000
会議費残金	2,000	定期預金	40,000
事務費残金	9,780	事務用品費	40,000
雑収入(利息)	6	振込手数料	540
合計	1,082,342	合計	560,540

会報合本積立金合計 140,088 円

以上報告します。会報委員会会計 伊藤 顕 (高 46 回)

名簿委員会会計

収入総額	739,501 円
支出総額	0 円
差引残高	739,501 円 (次期繰越金)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	739,495		
雑収入	6		
合計	739,501	合計	0

以上報告します。名簿委員会会計 千葉 宏 (高 8 回)

会計監査報告書

令和 2 年 7 月 29 日 17 時 00 分より会津高校大会議室において、会津高校同窓会「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について会計担当者の説明を聴取し、関係帳簿及び証拠書類の照合を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。
令和 2 年 7 月 29 日 (水)

監事： 近 藤 尚 人 (印)

監事： 宮 澤 洋 一 (印)

令和 2 年度会計予算

(令和 2 年 7 月 1 日より令和 3 年 6 月 30 日まで)

一般会計

収入 (単位：円)

科 目	金 額	備 考
繰越金	2,188,042	前年度繰越金
入会金	1,175,000	5,000 円 × 235 名
協賛金	2,400,000	
雑収入	50,000	利息等
繰入金	300,000	130 周年記念事業同窓会負担金、広告代
合計	6,113,042	

支出 (単位：円)

科 目	金 額	備 考
事務局費	200,000	事務用品代、役員名刺代等
事業費	100,000	130 周年記念事業負担金、学校事業補助
総会費	200,000	同窓会総会補助
会報発行費	600,000	印刷費
会合出席(地元外)	700,000	在京・関西・中部・北海道
会合出席(地元)	100,000	支部総会・墓前祭
慶弔費	20,000	花環代
卒業記念	250,000	卒業記念品、卒業証書用簡代
会議費	100,000	役員会会場費等
通信費	300,000	会報郵送代・切手等
HP作成管理費	200,000	作成費、管理費
基金	2,675,000	入会金・協賛金
手数料	90,000	協賛金振込手数料
雑費	100,000	広告代
予備費	478,042	
合計	6,113,042	

※科目間の流用は会長一任とする

会計幹事 真壁 伊佐男 (高 35 回)



第 1 回定例幹事会

在京同窓会

「活動状況」 幹事長代行 小野彰（高19回）

【総会】

4月18日、上野精養軒で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、政府・都知事から会合等の自粛要請を受けて、健康と安全を考慮して残念ですが中止を決めました。総会議案は5月末に書面議決（メール）にて可決しました。「設立70周年」の節目を迎える来年は4月17日第3土曜日を予定しています。

【第54回川島杯ゴルフ大会】

5月14日、東京湾カントリークラブで開催予定の大会は、首都圏一円の移動自粛要請が出されたので、感染拡大を回避するため中止としました。

【第16回会津歴史探訪の旅】

6月6日～7日の1泊2日で、若松語源由来の松阪・桑名などを訪ね、令和初の伊勢神宮参拝を兼ねた旅も残念ですが中止となりました。来年も同じ旅程での企画を予定していますのでお楽しみにして頂ければと思います。

【第31回文化講演会】

7月15日、江花昭一氏（高23回、神奈川大学保健管理センター長）が「人生百年時代のポジティブ健康心理学」～体と心と幸せ～と題して講演予定でしたが、第2波の感染リスクが懸念され、参加者の健康と安全を考えると中止としました。

【今後の催事について】

10月は親睦囲碁大会、芋煮会。11月は歩こう会、川島杯ゴルフ大会、会津若手人材育成塾。来年1月は新春麻雀大会、世代交流会・賀詞交歓会などを予定しています。

関西同窓会

「活動報告」 幹事長 佐々木 繁（高20回）

（一）第二十七回総会

令和元年十一月九日（土）、「ホテル プリムローズ大阪」で総勢三十二名の参加を得て開催した。

総会に先立ち、戸田修次氏（高20回）が「団塊の世代ラストラランナーのTweet（つぶやき、ぼやき）」の題で会員スピーチを行った。その後議事に移り「予算決算」「活動報告」などを審議。来賓挨拶では同窓会会長の林健幸様、校長代理出席の千葉宏様から同窓会活動や進学状況等の紹介があった。

懇親会では、それぞれ近況報告などをして、和気あいあいと旧交を温めた。今回、参加学生は女子四名で、男女共学の確かな歩みを感じさせられた。ただ、昨今、関西への大学進学者の把握が難しく、会の目的のひとつである学生との懇談・激励が困難になってきている。学校側の協力をお願いする次第である。

（二）今年度の活動

今年は、十一月に総会、年四回の定例懇談会、年三回の散策会、各地区同窓会との交流、黒谷での剣舞奉納激励などの活動を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、定例懇談会、散策会とも開催できていない。役員会で協議し対応を図りつつ進めている。

（三）役員紹介

会長 菅家大幸（高14回） 副会長 桑原勇臣（高14回）
幹事長 佐々木繁（高20回） 事務局長 井上千代志（高20回） 会計 加藤賢一（高22回） 以上

中部同窓会

会長 小林 秀明（高15回）

会中、会高中部地区同窓会も創立以来33年目を迎え、会女同窓会と合同で家庭的雰囲気で開催しています。特に幹事長の林誠三郎氏（高19回）の尽力により「継続は力なり」を「地で行く活動」をしています。私も前会長の大内哲男氏（高13回）より仰せつかり早四年目になります。これと云って特筆すべき結果を示すことなく会長としての力量不足を感じています。関西同窓会には二回程出席させて頂きましたがやはり盛大で会員の心意気を感じて来ました。本部や在京、北海道地区の同窓会の活躍は会報を通して承知しており、中部地区役員会の席では回覧もしており、総会でも報告をしております。私も会長の責務上中部も頑張らなければと心意気は揚がるのですが「今一、空振り」の域が抜けません。今年は新型コロナウイルスで明け、今も終息の兆しが見えません。総会も中止し、秋の芋煮会は是非開催したいと思っています。中部地区は産業や観光でも恵まれていると感じていますので会員数の増加を目指して頑張りたいものです。東京、大阪の中間に位置し「日本の臍」と個人的には思っており大変住み易い土地柄と満足しています。今回コロナ禍によるテレワークでは生活様式も変わろうかと思っています。今後もし若い後輩諸氏や、中部地区で老いて増々元気な先輩諸兄の同窓会への参加を願いつつ、会中、会高時代の思い出話に花を咲かせ、会の発展を期待している者です。

四 地 区 か ら

北海道同窓会

「活動報告」幹事長 高橋 孝一（高22回）

北海道はコロナ禍による「緊急事態宣言」をいち早く2月下旬に出したこともあり、3月28日の役員会で第12回総会（5月23日予定）の中止を決め、同窓会関係者に通知しました。

北海道同窓会の設立以来、総会・懇親会や役員会の会場として利用してきた札幌第一ホテルが6月20日で閉館

支部活動

塩川支部



令和元年度の塩川支部総会は11月4日喜多方市塩川町の「粋句」で行われました。来賓として同窓会本部から福西正樹副会長、隣接の湯川支部から高橋新支部長をお迎えし、支部会員27名の出席のもと開催されました。物故会員への黙祷のあと、會津中学及び會津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、福西副会長及び高橋湯川支部長の来賓祝辞が行われました。識事においては、30年度事業報告及び決算報告、令和元年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定されました。また、役員の改選が行

となったのも衝撃でした。同ホテルの敷地内には白虎隊士の生き残り、飯沼貞吉のゆかりの地碑があります。飯沼は明治維新後、通信省に入り、札幌郵便局工務課長として道内の電気通信網の拡充に尽くしました。碑は飯沼の居住地跡に建っています。来年度の総会は会場の選定から始めなくてはなりません。

本年度予定の行事は7月のビール会も中止となりましたが、10月31日予定の芋煮会は何とか開催にこぎつけたいと願っているところです。

南会津支部

われ、支部長に野口富士夫（高18回）、副支部長に山ノ内壽太郎（高21回）が新たに選任され、同副支部長に渡部孝雄（高21回）が再任されました。総会終了後、本年度入学の新生8名に対して、支部長から祝福と激励を兼ね記念品（図書券）の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。続いて参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われました。参加者は、相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

新型コロナウイルス感染症は、今年度の同窓会の全体的な事業に影響が及んでいます。現下の情勢の中で、我々南会津支部においても、役員会・事業計画（案）・予算（案）等を審議する総会も開催出来ない状況となっております。

特に毎年この時期（7月）に開催する総会後の懇談会での、会員同士の交流と情報交換が出来ないことは、会の運営上に大きなダメージです。例年ですと、会からの報告として総会の内容等を本会報で紹介しておりますが、それが出来ませんので、私の拙文でお許し願います。新型コロナウイルス感染症対策は、森羅万象に科学が貢献している二十一世紀の時代でも解決が困難な病として各国で急速に研究が進められております。出口の見えないトンネルに入ったようで、不要不急の外出を控えるのが、普段の生活（ステイホーム）になつて、こもりきりの生活が続いております。こういう時こそ、普段読まないような書物を何冊か本棚から取り出して、時間を潰すことにしております。今回改めて、同窓会員名簿を取り出して、我が卒業年次を開く。そこには、青春時代の旧友の名前が並びます。卒業以来交際のない旧友の名もあるが、今、どうして居るのだろうか？ 齢・喜寿を迎え、良い好々爺になつて居るのだろうか？ それとも残念ながら、既に鬼籍に入ってしまったのか？ 思いが走馬灯のように巡ります。

と同時に、学級担任の恩師の顔を想い出します。学校生活も思い出されて来ます。

入学直後の校歌等の練習では先輩の堂々とした立ち振る舞いが眩しかったです。思わず「校歌・飯盛山の櫻花 鶴ヶ城跡の秋の草

♪ 学而会歌・緋鍼鎧う若武者が 右手をかがして仰ぎけん♪」を口遊みます。新型コロナウイルス感染症は、常日頃の私達の居場所について考えさせられました。そして、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、本来の同窓会活動が出来る日の到来を衷心より願う次第です。

支部長 渡部雅俊（高14回）記

猪苗代支部

年号が新しく令和となりその元年度初めての支部総会は例年通り11月23日の祝日に磐梯山麓の猪苗代観光ホテルで開催しました。本部役員より来賓として桑原大様（高34回）にまた講演



令和元年度 会津高校同窓会猪苗代支部総会 於 猪苗代観光ホテル 令和元年11月23日

会講師としては山川健次郎 就任されたことや副会長、 顕彰会事務局長の森武久様 副幹事長などの各役員にも (高14回)にお出でいただき 多くの新人に入っていただ きました。総会次第により いたことなどが報告されま 各挨拶や長寿祝い記念品贈 した。また、本校は令和二 呈、校歌斉唱、そして議事 年をもつて創立百三十年を の審議など順調に進行、ま 迎えることになりその節目 とめることができました。 に当たり記念となる大きな 桑原様からは本部役員改 事業に向けて計画取り組み 選期にあたり九月の総会に を進めているところであり、 において新会長に林健幸様が 各支部会員の皆様には資金

面でのご協力 をよろしくお 願いたい旨 のお話があ りました。 我々同窓生 一人ひとりが 母校の今後発 展のためまた 後輩の活躍の ためにもぜひ 協力していき たいと思いま す。また、森 武久様には 「評伝 山川 健次郎」と題 してお話いた だき山川先生 の多方面にお ける偉大な業

績や人脈の広さ等について 詳しくお話していただきま した。あらためて山川氏の 計り知れない偉大さを知ら されました。懇親会は来賓 を囲み盛大に行われ、交流 が深まりました。

支部長星美法(高16回)記

会津坂下支部

会津坂下支部の総会は例 年7月に開催しておりまし たが、新型コロナウイルス 感染予防の観点から、延期 する判断をさせていただき ました。世代を問わず、同 じ町に暮らす同窓生と語り 合えることを楽しみにして おりましたが、それは今暫 く先になりそうです。

未だ収束の見込みが立た ないコロナ禍の中、今年度 は14名の生徒が会津高校に 入学しました。学業や各種 活動は勿論、青春を謳歌す る楽しく貴重な時間をも奪 われ不便な生活を強いられ ている子ども達。輝かしい 未来を見つめ、今だからこ そ出来ることに精進するこ と、これからの長い人生の 礎を築くため、飽くなき探

究心を持つて見聞を広め、 良き友情を育み、充実した 高校生活を送ることを祈念 して、激励の言葉と記念品 を贈りました。

今後とも支部活動の進展 に一層努力し、会員相互の親 睦と地域の振興に寄与して 参りたいと考えております。 最後に母校同窓会の益々 健勝をお祈りし当支部の近 況報告いたします。

支部長桑原勇健(高17回)

学年便り

高5回

「ダイヤモンド会」

栗木治一郎 記

令和2年7月に設立58年 を闊したダイヤ会は唯一の 親睦集団となり、創立以来 の会員相田八四郎、古川實・ 中澤剛の各氏と加入後20年 の穴沢卯三郎・古川明・栗 木治一郎の6人で毎月23日 に集い、互いの無事長生を 確かめあっている。当会は 昭和37年に10人で発足した が荒木栄一、片村陽一、佐



藤武治、福西治夫、佐沼康 夫、斎藤正弘らは他界、武 藤栄助は病氣退会(3月) した。他方、昭和35年頃に 二八会(28/3卒)が発足。 渡部四郎、栗城嘉昭、小山 博之(他界)らが活動の中 心を担っていたが、昭和50 年代に在京二八会と合同の 新年会(帝国ホテル)をや る等、勢力を拡大したが、 3年前に解散し私共6名 も退会した。残る甚六会 も昨年解散しさびしい限 りです。(星徳哉、渡部四 郎、大内明氏など)こう した変遷の後、当会は現 役の中澤剛、穴沢卯三郎 氏が牽引役で小生らも助 け合つて運営している。 小生は東北電力勤務 で長らく転勤族であつた が、昭和60年会津 勤務となつてから、 二八会、ダイヤ会 に参加したほか、 15年程前から、学 年幹事を努めてい る。母校130周年記 念行事がコロナ騒 動ですべて中止と なる未曾有の事態 になる。生活リズ 同ムや体調変化(高 齢?)もあり、体 力の衰えに歯止め をかけるよう運動 に努めるが意の如 く動かない。終活 会高五時期にあつて、も と思う日々です。

昭和55年1月18日 於 帝国ホテル
に参加したほか、
15年程前から、学
年幹事を努めてい
る。母校130周年記
念行事がコロナ騒
動ですべて中止と
なる未曾有の事態
になる。生活リズ
同ムや体調変化(高
齢?)もあり、体
力の衰えに歯止め
をかけるよう運動
に努めるが意の如
く動かない。終活
会高五時期にあつて、も
と思う日々です。

進路指導部より

令和2年度入試の国公立大学現役合格者数は、のべ100名（昨年度99名）であった。全体の合格者数としては昨年並みであったが、難関国公立大および医学科の合格は、東京大学が1名（推薦合格：本校初）、東北大学が4名、お茶の水女子大学が1名（平成26年度卒生以来）、福島県立医科大学が2名など、昨年と比べて増加し、生徒達は健闘した。

私立大学については、難関大（早慶理・MARCH）の中では中央大学の合格者数が増加、私立大全体では合格者数が昨年より減少した。この合格者数の減少は、2016年度以降、都市部の大規模大を中心に、定員超過は正を目的として合格者数を大きく減らす動きがみられ、難化傾向にあったこと、安全志向が強く出願する大学の数を控えたことが原因と考えられる。

母校は今

①

「令和2年度進路一覧」

(1)概況(令和2年3月卒業、全日制普通科272名)

卒業生数	進学希望者数	進学者数	次年度受験 予定者数	就職者数		その他
				県内	県外	
272	269	218	51	0	3	0

(2)進学者の内訳

国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	海外の大学
59	27	115	9	7	1

(3)最近2ヶ年の大学別合格者数【のべ人数】

* 現は現役を表す

* 年度は入試年度を表す

①国立大学

		令和2年度		平成31年度	
		現	現+既卒	現	現+既卒
福 島	弘 前	0	1	1	1
	岩 手	4	4	0	0
	東 北	4	5	0	5
	宮 城	0	0	1	1
	秋 田	2	2	1	1
	山 形	8	10	3	3
	人 間 発 達	4	5	7	7
	行 政 政 策	0	0	3	3
	経 済 経 営	1	1	2	2
	共 生 理 工	2	3	4	4
	食 農	1	1	2	2
	計	8	10	18	18
茨 城	筑 波	7	7	4	4
	宇 都 宮	2	2	5	5
	埼 玉	5	5	4	4
	千 葉	0	0	1	1
	お 茶 の 水 女 子	1	1	0	0
	東 京	1	1	0	0
	東 京 医 科 歯 科	1	1	0	0
	東 京 外 国 語	1	1	0	0
	東 京 海 洋	1	2	1	1
	東 京 学 芸	2	3	0	0
新 潟	東 京 工 業	0	0	0	1
	東 京 農 工	1	1	0	0
	横 浜 国 立	0	1	0	0
	上 越 教 育	1	1	0	0
	人 文	0	0	1	1
	法	3	3	0	0
	経 済	2	2	3	4
	教 育	0	0	2	3
	創 生	0	0	0	0
	理	1	2	1	1
富 山	工	3	4	5	6
	農	0	0	1	1
	医 ・ 歯	2	5	0	0
	計	11	16	13	16
	富 山	1	1	1	2
	金 沢	1	1	4	4
	山 梨	2	2	2	2
	信 州	1	1	1	1
	静 岡	0	0	3	4
	京 都	0	0	0	1
奈 良	教 育	1	1	0	0
	広 島	1	1	0	0
	そ の 他	0	0	1	1
	国 立 大 学 合 計	68	82	67	80

②公立大学

		令和2年度		平成31年度	
		現	現+既卒	現	現+既卒
岩 手 県 立	宮 城	2	2	3	3
	秋 田 県 立	4	4	1	1
	会 津	1	1	2	2
	医 学	6	8	7	7
	看 護	2	2	2	4
	計	3	3	2	3
	群 馬 県 立 女 子	5	5	4	7
	高 崎 経 済	2	2	2	2
	埼 玉 県 立	3	4	2	2
	埼 玉 県 立	0	1	0	0
東 京 都 立 (首都大東京)	横 浜 市 立	1	1	2	3
	横 浜 市 立	1	1	0	0
	新 潟 県 立	1	1	3	5
	都 留 文 科	0	0	4	4
	そ の 他	6	6	2	2
	公 立 大 学 合 計	32	36	32	38
	国 公 立 大 学 合 計	100	118	99	118

③私立大学

		令和2年度		平成31年度	
		現	現+既卒	現	現+既卒
東 北 学 院	自 治 医 科	10	11	25	25
	文 教	0	0	0	2
	文 山 学 院	13	14	18	19
	慶 應 義 塾	2	4	1	4
	慶 應 義 塾	1	5	2	6
	駒 澤 大	3	4	6	8
	上 智 大	0	2	0	1
	専 修 大	4	6	13	17
	中 央 大	10	10	3	7
	津 田 大	5	5	2	3
東 京 理 科	東 京 理 科	2	2	5	8
	東 京 理 科	10	10	8	11
	日 本 大	13	17	26	27
	法 政 大	4	6	3	10
	明 治 大	2	2	2	7
	立 教 大	4	5	4	6
	早 稲 田 大	5	7	5	7
	同 志 社 大	3	3	1	3
	立 命 館 大	1	1	0	6
	そ の 他	211	258	268	305
私 立 大 学 合 計	私 立 大 学 合 計	303	372	392	482

④短期大学

		令和2年度		平成31年度	
		現	現+既卒	現	現+既卒
短 期 大 学	短 期 大 学	13	13	33	33

【柔道部】 福島県高等学校新人体育大会柔道競技 男子学校対抗 ベスト 8

【バレーボール部】 福島県高等学校体育大会バレーボール競技 男子・女子 ベスト 16

【水泳部】

1. 福島県高等学校体育大会水泳競技
男子 総合 8 位
100 m 背泳ぎ 7 位 200 m 背泳ぎ 7 位 100 m 平泳ぎ 3 位 200 m 平泳ぎ 3 位
100 m 自由形 8 位 400 m リレー 8 位 400 m メドレーリレー 5 位
女子 100 m 平泳ぎ 5 位 (以上東北大会出場)
2. 福島県高等学校新人体育大会水泳競技
男子 200 m 平泳ぎ 2 位 100 m 平泳ぎ 3 位 50 m 自由形 3 位 400 m メドレーリレー 2 位
女子 100 m 平泳ぎ 3 位 (以上東北大会出場)
3. 第 27 回東北高等学校新人体育大会水泳競技大会
男子 100 m 平泳ぎ 5 位 400 m メドレーリレー 6 位

【陸上競技部】

1. 福島県高等学校体育大会陸上競技
男子 400 m H 1 位 5000 m W 1 位 (全国インターハイ出場)
2. 東北高等学校陸上競技大会
男子 400 m 6 位 400 m H 5 位
4 × 400 m R 3 位 (全国インターハイ出場)
3. 福島県高等学校新人体育大会陸上競技
男子 400 m 4 位 3000 m S C 1 位 5000 m W 1 位, 4 位
走高跳 4 位 やり投 4 位
女子 400 m 3 位 走高跳 2 位 (東北大会出場)
4. 第 24 回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
男子 5000 m W 3 位 3000 m S C 5 位
5. 第 37 回福島県高等学校駅伝競走大会 総合男子 4 位 (東北大会出場) 総合女子 9 位
6. 第 55 回東北高等学校駅伝競走大会
男子 14 位

【端艇部】

1. 福島県高等学校体育大会ボート競技
男子 舵手付きクォドルプル 優勝 女子 ダブルスカル 優勝 (東北大会, 全国 I H 出場)
2. 福島県総合体育大会ボート競技
男子 舵手付きクォドルプル 優勝 女子 ダブルスカル 福島選抜 優勝 (東北総体出場)
3. 東北総合体育大会ボート競技
男子 舵手付きクォドルプル 5 位 女子 ダブルスカル 5 位 舵手付きクォドルプル 2 位 (国体出場)
4. 全国高校総合体育大会ボート競技兼第 67 回全日本高等学校選手権大会
男子 舵手付きクォドルプル 準々決勝敗退 女子 ダブルスカル 準々決勝敗退
5. 福島県高等学校新人体育大会ボート競技
男子 ダブルスカル 1 位 女子 ダブルスカル 2 位 シングルスカル 2 位 (以上東北大会出場)
6. 第 34 回東北高等学校選抜ボート大会
男子 ダブルスカル 3 位 (全国大会出場権獲得)

【テニス部】

1. 第36回福島県春季ジュニアテニス選手権大会 U 18 男子シングルス 2 位 ダブルス 3 位
2. 福島県高等学校体育大会テニス競技 男子シングルス 3 位（東北大会出場） ダブルス 3 位
3. 第74回国民体育大会テニス競技福島県少年選手選考大会 2 位（国体出場）
4. 第60回東北高等学校テニス選手権大会 男子シングルス ベスト 16
5. 第42回東北ジュニアテニス選手権大会 U 18 男子シングルス ベスト 8
6. 第39回東北選抜ジュニアテニス選手権大会 男子シングルス出場
7. 2019 年茨城国体 少年男子 福島県チーム出場

【なぎなた部】

1. 福島県高等学校体育大会なぎなた競技 団体試合の部 3 位
2. 福島県総合体育大会なぎなた競技 団体試合の部 3 位
3. 第27回福島県なぎなた選手権大会・第10回前川光杯 高校生団体の部 優勝
4. 第28回福島県高等学校新人なぎなた大会 個人 2 位（全国大会出場権獲得）

【吹奏楽部】

1. 第57回福島県吹奏楽コンクール 高等学校小編成の部 金賞（東北大会出場）
2. 全日本吹奏楽コンクール第62回東北大会 高等学校小編成の部 銀賞

【社会弁論部】

1. 第73回全国高等学校弁論大会 名古屋市長賞（3 位相当）
2. 第24回東北地区中学・高校ディベート選手権 準優勝（全国大会出場）
3. 第43回全国高等学校総合文化祭 弁論部門 出場
4. 第24回全国中学・高校ディベート選手権大会 出場
5. 第64回文部科学大臣杯全国青年弁論大会 出場

【物理部】

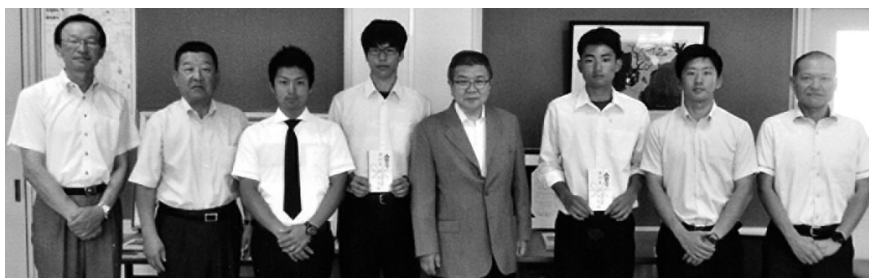
1. 第63回日本学生科学賞（県審査）県知事賞（1 位）（全国審査出場）
2. 令和元年度中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」 高等学校共同研究の部 優秀賞

【合唱部】

1. 第86回NHK全国学校音楽コンクール福島県コンクール 最優秀賞（2 位）
2. 第73回福島県合唱コンクール 金賞（2 位）
3. 第86回NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 金賞（1 位）
4. 第71回全日本合唱コンクール東北支部大会 Bグループ 金賞（3 位）
5. 第72回全日本合唱コンクール全国大会 Bグループ 金賞 岡山県知事賞（2 位）
6. 第86回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール 銅賞（3 位）

【その他】

1. 第39回全国高校生読書体験記コンクール県選考会 最優秀賞 優秀賞
2. 第65回青少年読書感想文全国コンクール県審査会 特選



2019 年 激励金贈呈 7 月（陸上競技・端艇部）

コロナ禍と学校 本多 克至 (高54回)

母校は今

③



新しい元号、令和も2年目となった新年1月、海を隔てた隣国中国にて厄介そうなウイルスが蔓延しているというニュースを目にしたとき、ふと数年前に起こった新型肺炎SARSのことが思い出された。このときは、この新しいウイルスが世界中の経済活動を停滞させるまでの威力を持っているとは予想だにしていなかった。大学入試センター試験も滞りなく終了し、これから2次試験に臨むという段階になって、新型コロナウイルスは教育界にまで影響を及ぼしてきていた。「学校が休校となる」という情報が入り、大急ぎで課題の準備をした。奇しくも今回が初年度となる高校入試の新制度にも、想定以上の感染予防対策が取られることとなった。非常に残念であったのは卒業式である。高校3年間を締めくくる、卒業生と保護者、そしてそれを送り出す在校生と我々教職員にとっても大きな節目となる催事でありながら、規模縮小、時間短縮のもと、気持ちの上では精一杯卒業を祝ったつもりではあるが、やはり寂しさを感じてしまうことは否めなかった。令和元年度は、天候不順により、恒例行事である中田浜強歩大会、創立記念マラソン大会も開催できなかった。この上卒業式まで例年どおりにできぬとは、3学年生徒、担任を思うと、いたたまれぬ思いであった。

ところが、このコロナ禍は新年度となっても治まる気配を見せなかった。在校生は休校期間を含めた長い春休みとなり、自宅学習を余儀なくされた。教員は課題の指示に苦心し、従来どおりのテキスト配布による課題に加え、オンライン型学習の準備と実践に取り組んだ。慣れぬアプリ操作に試行錯誤しながら、リモートでの課題の提出や返却、そして授業動画の配信など、各々が工夫を凝らし、なんとか生徒の学びを止めぬようにと奔走していた。そうして、授業に比肩するとは言えぬまでも、生徒の学びの機会の確保にはある程度努めることはできた。しかしながら、なんともすることができなかったのは、春の時期に行われる予定であった部活動の大会の相次ぐ中止である。結局、この大会中止の波は春で引くことなく、3年生部員の集大成となるインターハイ大会にまで波及し、ほとんどの生徒が、力を試す機会すら与えられることなく引退していった。このような残酷な運命の最中であっても、生徒たちは事実を受け止め、下を向くことなく顔を上げていた。その健気さに、一筋の涙を禁じえなかった。

4月、簡素ながらも入学式を行って新入生を迎え入れ、短いながらも学校生活が開始となるもゴールデンウィークを前にして再びの全国一斉休校。5月になり、休校期間の延期の後、段階的な分散登校による学校生活の再開。そして6月から「三密」への対策を十分に行っての授業、部活動の始動。失われたおよそ2か月の授業機会の取り戻し、考査や学校行事の延期と日程調整。やむを得ず7月末まで延長した授業日と、大幅に削られることとなった夏季休業。8月となり、ようやくこの原稿を書くに至った学校現場は、かなり疲弊している。

開催が危ぶまれた東京オリンピックが1年延期となったことが遠い昔のこのように思われ、「ウィズコロナ」という言葉とともにマスク着用が当然となる“新しい生活様式”が浸透しつつあり、僅か半年ほどの期間で我々の暮らしは大きな変化を強いられることとなった。しかし、不平不満を述べてばかりでは進歩はない。現状を把握し、適応し、生徒と共に一歩ずつ前に進んで行こうと思う今日この頃である。

故坂内孝成氏 (高8回) より端艇部に 100 万円の寄付金贈呈

4月16日(木)に会津高校校長室にて端艇部OBの故坂内孝成氏の奥様よりキャプテンの氏田蒼君へ目録が手渡されました。

故人の遺言により端艇部活動への激励金であり、氏田君からは、「有意義に使わせて頂きます」との力強い言葉がありました。

尚、立会人として廣瀬敬彦校長、鈴木康友教頭、星大地前顧問、大内弘之顧問、坂内孝三様、奥様、佐賀幹雄端艇部後援会長が出席しました。

佐賀 幹雄 記 (高23回)



故人のプロフィール

- ◎ 早稲田大政経学部卒
- ◎ 1955 インターハイ全国制覇
- ◎ 旭電化工業(株)元専務 (現 ADEKA)

追悼

渡部恒三氏を悼む

羽賀重弥(高2回)



最近の新聞報道によると政治家の渡部恒三氏が亡くなった。最後は衆議院の副議長を長らく務めた個性的な政治家で新聞も大きく紙面を割き暖かく書いていた。氏は会津高で小生の一年下の後輩で後早大に進んだ。当時は6年間も同じ学校にいれば学年は違ってもいろいろな交流があり親しくしていた。

彼は南会津の山の中から出てきて市内に下宿をしていた。氏の実家は大きな醸造業で、代々県議員を輩出していた家柄であった。氏の家には多くの蔵書があり、特に氏は徳富蘇峰の日本史を愛読し戦国時代の話などを小生と二人で議論したのも懐かしい思い出である。

恒三氏の同級生に小室直樹と言う後に政治学者になった人がいた。小室氏は個性豊かな人で、京都大学数学科を卒業後は阪大、東大と学び、更に米国に留学、マサチューセッツ(MIT)、ミシガン大と学び帰国。特に日本人で最初にソビエトの崩壊を予言した事でも有名になった人であった。

小室氏は家庭的に恵まれず、叔母の家に厄介になっていたが、恒三氏とは隣席同士で仲良く、小室氏が昼の弁当を持ってこないのを見て、恒三氏は下宿に頼み二人分の弁当を作らせ、その一つを毎日小室氏に与えていた。

恒三氏は小室氏の面倒をよく見ており、長く続けたことは大変な事であったと思う。ある学期休みの直前のある日、小生と恒三氏とが一緒にいた所に小室氏がやってきた。恒三氏は小室氏に曰く、「小室よ、友達から借りた借金のリストを作ってくれ。俺が清算してやるから。お前が将来名を成した時に【小室は俺の借金を踏み倒した】と言われないうちにも大事な事だ」と言い小室氏の友人からの借金を全部清算してやった事があった。今でも耳朶に残る言葉である。

渡部恒三氏は政治家としては毀誉褒貶の激しい人でもあったが、小生の見たことのような一面もあった。恒三氏よ、安らかに眠れ。合掌

令和2年8月27日

第五十号編集委員会

- 委員長 佐藤 紘一
- 委員 渡部恵未里
- 校内主任 太田 伸
- 会計 須藤 毅
- 校内担当者 伊藤 顕
- 森田 信
- 斎藤 正志
- 本多 克至
- 羽曾部修章
- 福島 健一
- 五十嵐圭祐
- 同窓会幹事長 星 宏
- 顧問 佐藤 隆夫
- 千葉 宏



令和元年度総会風景



令和2年度 第1回定例幹事会

編集後記

令和二年は歴史的多難な年となりました。このコロナウイルス禍の事は重大事件として世界史にも残ることでしょう。

この世界的災厄の一端として、同窓会総会も各学年幹事による書面評決となりました。これに伴って、総会当日発行の「同窓会報、五〇号」も延期となりました。皆様にお届けすることとなりました。「もつと早く発行せよ。」とお叱りも受けましたが、諸般の事情で遅れてしまい、申し訳ありませんでした。

地区、支部、学年会ともほとんどの総会が中止となり、活動報告がありませんでした。会長杯のゴルフ、囲碁、将棋大会も中止になり、会報原稿は大幅に減りました。そこで、前年の半分のページ数で構成しました。このような中でも、玉稿をお寄せ下さいました会員各氏には感謝申し上げて編集後記といたします。

編集委員長 佐藤 紘一(高13回)

印刷所 (株)丸八 会津若松市馬場町一四一

FAX 〇二四二二二四一五三